

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-03-01
事務事業名	戦没者追悼事業	根拠法令・要綱等	備前市戦没者遺族連合会等補助金交付要綱
事業開始年度	昭和46年以前	担当課(室)	社会福祉課
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	職・氏名 障害者福祉係長 山本光男 電話 64-1824
	中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目 施策	障害者(児)福祉	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内の戦没者遺族、傷痍軍人並びに原爆被爆者
目的(何のために)	戦没者及び遺族に対し、慰霊の意を表すため戦没者追悼式を実施する。戦没者遺族連合会、傷痍軍人会、原爆被爆者会に対して会の運営助成を行う。
行政活動(どのような方法で)	戦没者追悼式については、戦没者追悼式実行委員会(関係団体の内から市長が委嘱)を組織し、実行委員会に事業委託を行って実施する。また、戦没者遺族会、傷痍軍人会、原爆被爆者会へ補助金の交付を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	戦没者追悼式の参加者を増やすとともに、参加された方々に満足してもらえる式典にしたい。また、戦没者遺族連合会、傷痍軍人会、原爆被爆者会の運営が活発なものとなるようにしたい。

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の正当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

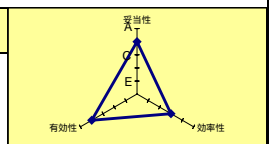
事業の実績					
	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
活動実績	追悼式参加者数	人	420	410	425
	実行委員会開催回数	回	2	3	3
	遺族会補助金	円	234,000	234,000	234,000
	傷痍軍人会補助金	円	90,000	90,000	90,000
	原爆被爆者会補助金	円	45,000	36,000	36,000
	事業費	千円	3,457	3,131	2,606
	人件費	千円	3,375	6,375	3,413
	事業費計		6,832	9,506	6,019
	財源	千円			
	国県支出金				
受給者負担					
市債					
一般財源		6,832	9,506	6,019	
必要人員	人	0.41	0.75	0.37	
結果指標名					
結果指標	追悼式参加者数	説明	戦没者追悼式に参加した人数		
	結果指標量	人	420	410	425
	対前年比	%	-	97.6%	103.7%
	活動コスト	円	6,294,000	8,827,000	5,488,000
	単位当たりコスト	円	14,986	21,529	12,913
結果指標	実行委員会開催回数	説明	戦没者追悼式実行委員会を開催した回数		
	結果指標量	人	2	3	3
	対前年比	%	-	150.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,013,000	1,913,000	1,024,000
	単位当たりコスト	円	506,500	637,667	341,333

事業の成果			
成果指標名	追悼式参加者数	式又は説明	戦没者追悼式の参加を増やしたい
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	420	410	425
対前年比		97.6%	103.7%
到達目標値	370	到達目標年度	21年度

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 閉法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価 < A ~ E >	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	戦没者遺族、傷痍軍人及び原爆被爆者を対象とした事業であり、目的、内容は妥当である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	戦没者追悼式については、備前・日生・吉永の3地区で開催しているが、平成20年度から1箇所で開催することとしている。	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	効率性評価 < A ~ E >	C
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		課題認識
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	戦没者追悼式については、備前・日生・吉永の3地区で開催しているが、平成20年度から1箇所で開催することとしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
手手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	戦没者追悼式については、備前・日生・吉永の3地区で開催しているが、平成20年度から1箇所で開催することとしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価 < A ~ E >	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		課題認識
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	戦没者追悼式については、備前・日生・吉永の3地区で開催しているが、平成20年度から1箇所で開催することとしたため、大幅な経費の削減となる。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	事業の必要性は感じるが、年々該当者等が減少しており、目標値の向上が難しい。	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	有効性評価 < A ~ E >	C
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		課題認識

平成20年度の状況		説明	戦没者追悼式については、備前・日生・吉永の3地区で開催していたが、今年度から1箇所で開催することとしたため、大幅な経費の削減となる。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	350	結果指標量	3
	成果指標量	370		

総合評価		評価区分 < A ~ E >	C
戦没者追悼式については、毎年内容の見直しをしながら実施している。平成20年度から1箇所で行うこととなったため、経費の削減となるが、運営方法等についてさらに検討していきたいと考えている。			



平成21年度以降の方向性		□ 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	平成20年度のバス利用状況を分析し、効率のよい送迎バスの運行を行う。	平成21年度	送迎バスの利用者増を図ることにより、追悼式への参加者を増やすことができる。